

#### ■フランス：EDF、仏国内のCO<sub>2</sub>排出量を2016年に対1990年比で半減

フランスの大手エネルギー会社EDFは2014年6月16日、同社の国内における年間CO<sub>2</sub>排出量が2016年までに1990年比で半減する見通しであると発表した。2013年実績は排出量が1,692万t-CO<sub>2</sub>、排出原単位が0.035kg-CO<sub>2</sub>/kWh（1990年実績は0.067kg-CO<sub>2</sub>/kWh）で、後者は既に半減に近い水準に達している。ただし、発電電力量が1990～2016年に26%増加する見通しであるため、同社は2016年までに効率の悪い石炭火力発電所約300万kWをコンバインドサイクルに置き換え、排出原単位をさらに3分の1以上低下させる考えである。なお、同社のフランス国内における電源構成（発電電力量ベース、2013年実績）は原子力85%、水力11%とCO<sub>2</sub>を排出しない電源が96%を占めており、CO<sub>2</sub>排出原単位はEDFグループ全体の平均の約3分の1、欧州のエネルギー会社平均の約10分の1の水準と非常に低い。